

平成30年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会12月定例会議事録

- 1 日 時 平成30年12月12日(水) 午後1時30分～午後4時00分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、植松副会長、和田会計、矢野監事、弓達監事、
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三觜健一、林申次、
高梨勇、岩壁榮、小島正徳、滝本誠、新倉昭人、中田一夫、前田積、
青木三郎、古谷宏、茂木信男、永野盛芳、永澤鐵男の各委員
欠席 熊澤繁雄委員
都市政策課長(後藤課長外)、スポーツ推進課(大川課長)
市民自治推進課(富田課長、永倉課長補佐、木村課長補佐、窪田副主査)
事務局(山田、長野)

4 会議の経過

- (1) 開 会 細田副会長
- (2) あいさつ 後藤会長
- (3) 議 題

- ① 研修会の状況について
事務局より、資料に基づき説明した。
- ② 新年賀詞交歓会について
事務局より、資料に基づき説明した。
- ③ 新年賀詞交歓会について
事務局より、説明した。
- ④ その他

ア 情報交換について

(ア) 茅ヶ崎市内の犯罪発生状況等について

後藤会長より、茅ヶ崎市内の11月末現在の犯罪発生状況等について、資料に基づき説明があった。

振り込み詐欺については、茅ヶ崎と松浪が1件ずつということで、今振り込み詐欺は全国的に見ますと減少傾向になっていますが、神奈川県は残念ながら増加傾向です。おかげさまで、茅ヶ崎については、皆様方のご協力をいただきまして、昨年11月末現在に比べて3件減少しております。被害金額については、3,200万円少なくなっているということです。別紙として各地区ごとに出してありますが、この中で、湘北地区の融資保証金詐欺というのがございまして、これは、こういう会社に融資をすると、こういう金利がつくというような、あなたはこの企画に当選しましたというようなことで、そのために、会員になっていただくために50万円を先にお支払いくださいというようなことで、50万円ぐらい引っかけたそうです。高齢者よりちょっと若い人、65歳ということですが、定年になって退職金が手元にあって、それをなんとか増やそうということになると、こういう詐欺に引っかかりますので、充分気を付けていただければと

思います。先月は2件ということで少なくなってきました。全体的に各地区とも昨年と比べて減っているんですが、4地区は昨年より少し増えているという状況もございますので、機会あるごとに振り込み詐欺対策のお話をさせていただければと思います。先月もお話したように、暴行障害というのが、暮れで飲み会が多くなると酔っぱらってけんかをするとか、充分注意をしていただければと思います。あと自転車盗も相変わらず出ています。交通事故につきましては、高齢者の事故が神奈川県と比べると、約2パーセントぐらい増加している。二輪車についても神奈川県と比べると3パーセントぐらい多くなっている。自転車についてもやはり神奈川県と比べると多くなっている。子どもの事故については、おかげさまで少なくなっているという状況です。

(イ) 中学校の部活動における自転車使用の検討に係るヒアリングについて

和田役員より資料に基づき説明があった。

皆様のお手元に11月16日に行われたヒヤリングで、各団体が主張したことがかいてあります。あとで見ていただきたいんですが、やはり学校側は部活動における中学校の自転車の使用については、はっきり言ってやめてほしいという意見が多いです。そのほか、まちぢから協議会連絡会ははじめPTA、青少年推進育成協議会などの代表の意見は、簡単に部活動で中学生の自転車使用を禁止するということが、おかしいのではないかと。いろいろな対策をとるべきという意見があります。私も書いてあるように主張したんですが、学校側は部活動を行う生徒を引率していくということについては、大変危険を感じている。子どもの命を預かっているということで大変負担だと。それについては先生だけの責任じゃなくて、子どもの保護者が助けてくれると大変ありがたいんだということ、だいたい主張してました。確かにこれは基準があるわけじゃないんですが、部活動で責任を持っている先生は、ひとりで何十人という生徒をみることは確かに大変なことだと思います。90代の男性の車で、部活動の女生徒が顔にけがをしたということから始まったわけです。今まで大きな事件はなかったんですが、小さい事件はたくさんあったということが書いてあります。それはどの程度かわかりませんが、やはり一度に自転車の使用を禁止するというについては、いろんな問題を抱えています。学校側はさきほど言ったように、やめてほしいという意見は相当あります。だいたい意見交換を行いました、結論はまだ出ておりません。ただもう一回来年の1月にこのつづきをやります。それで各団体の代表で、意見をくださいということで、3つの案が出ておまして、ひとつは現状維持、これは自転車の使用禁止、ひとつは駅までは自転車を利用してよい、3番目は、その他ということです。これについては、皆さんの方からももう少し意見をいただければ、それに基づいた意見を提出したいと思います。その他のなかで、ちょっとふれますと私立ですとスクールバスがあつて、まとめて生徒を送り迎えする、公立もスクールバスをもつたらと言ったんですけども、困難だということで残念なお答えでした。いろいろな案で検討した方がいいと思いました。ただ近隣の市はほとんど自転車を禁止しているので、そんな背景もあつて学校側は禁止の方向にいきたいようです。

(会長) この件について、もうすでに事務局に意見をいただいておりますが、まだ出し

ていない地区とか、こんな意見があるよという方は、事務局まで出していただければと思います。ちょうど昨日朝、西浜高校の前を通ったんですが、父兄の方々が、プラカードを持って道路に立ってるんです。「横に並んで走っちゃいけません」とか「～を注意しましょう」とか書かれたプラカードです。中学校も、こういうことをやって事故を減らそうとか、何か行動すればまた違ってくるのかなと思いました。この件について各団体から意見を出していただいて集約し、1月にもう一度、集まってヒヤリングをしてそれによって次年度の方向性を決めたいというお話ですので、よろしくお願いします。

(ウ) 海岸地区より広報紙の提供があった。

海岸地区では自治会の掲示板はいくつかあるんですが、貼るスペースも少ないこともあり、まちぢから協議会は自治会の会員以外も対象だということで、いろいろな情報を見れるようにしておかなければいけないということで、掲示板をなるべく増やそうという話がでまして、とりあえず最初は市の所有している緑地に置くようにしようということで、全部で7か所選定をいたしまして、この計画を地域の住民に知らしめて意見があればお寄せくださいとして回覧を回しました。住民の方の意見がこの提案に対して、よいということであれば、予算の申請をさせていただき、実行したいと思っております。

(会長) 参考までに1か所いくぐらいですか。

(答) 平均17、18万円ぐらいだと思います。

(エ) 小出地区より広報紙の提供があった。

まちぢから協議会の社会福祉部会で計画しました。人生100年時代がくるので、健康寿命を伸ばそうという運動をしまして、その一環で先日小出地区のマップを作りました。表に七福神巡りをはじめ、下寺尾の遺跡巡りが出てます。みなさんどんどん歩いていただいて、寿命を伸ばしていただいて医療費の削減、介護費用の削減に努めようという運動をしています。七福神というとお正月のイメージですが、小出地区はお正月に限らず、年中やっていきたいと思っています。まず来年の1月16日に20名の定員で、これは途中の店でランチを食べるので店の席数からきてます。ぜひ皆さん小出においでいただいて、七福神巡りを体験していただきたいと思います。

(オ) 浜須賀地区より広報紙の提供があった。

これは回覧で500部位作りました。防災訓練をやりました時に、防災トイレが小学校にできましたので、写真で公開をしました。防災トイレは普段は一部を水洗トイレに直して、災害時に断水した時には、下に広い汚物を貯めるものがあり、管には流れません。普段は水洗トイレとして使えます。またペットの犬や猫につきましては、ケージに入れて避難所に来てもらうということで、市が準備して小学校2校、中学校1校で行いました。なぜかという、今までペット対応はそれぞれの学校で対応が違いました。それで今回、市が犬猫などのペットについては、受け入れはするけれどもケージなどに入れてくださいとの方針を受けて訓練を行いました。そのほか、浜須賀会館の記事を1ページにわたって掲載しています。そのなかで、浜須賀会館まつりにおいて通常は認めていませんが、その団体の運営に寄与することと思いい、特定の団体には販売を認めています。あとは小学校と中学校の記事を載せています。

(エ) 小和田地区より広報紙の提供があった。

小和田地区のまちぢからニュースをカラーで配ったのは初めての事です。いつもは決まったことを報告しているA4版のものなのですが、今回このニュースを作ったわけは、表面1面には避難誘導看板を設置しましたが1面、これを出すいきさつは避難誘導看板を設置する事業をまちぢから協議会で取り組んできて設置をしましたが、地域住民の方からどこに設置されているかわからない、ちゃんとPRをとという指摘がありまして、それでこの1面の企画を出しました。主としてこれは交通安全部会で検討して看板を設置しました。実は看板を設置してある大部分は上赤羽根地区です。当然上赤羽根地区に設置する看板を勝手に小和田で決めていいのかということがありますので、相談をさせていただきながら、それぞれの持ち主の了解を得て設置したわけです。特に2番目に掲載してある看板はまさに民家の庭なんです。趣旨を理解していただいて設置を了解していただきました。基本的に付け方は、公共用地であるかどうかは問わず、どこの場所に必要なのかということを前提にして設置をしてあります。実はそういう過程のなかで、茅ヶ崎市としても広域避難場所の看板を整備しなければいけないということがありましたし、新たに湘南コランエナジーさんとか赤羽根中学校なども広域避難場所に新たに指定されましたので、それらを合わせて一枚の地図に落とし込みました。地図にしたことだけでなく、実際に歩いてみてくださいということが、これからの課題だと思います。裏面は、前回の定例会で中田会長から報告があったと思いますが、その団体の運営に寄与することだと思います。辻堂西口YU-ZUルームが土地活用モデル大賞をいただいたことの紹介と、その施設の紹介をしています。それで下に掲載されているカフェは、全くのボランティアで運営されていて、今のところ交通費も出せていない状況で、それをどうするかは、ニュースには書いていない課題なのですが、開館から現在までのところ人件費、旅費交通費も含めて、一銭も支出をしていません。じゃあお金がかからなくて7いいじゃないかと思いますが、実はこれだけの施設を維持するとなると、光熱費だけでも毎月10万円は超えますので、設備的にもかかり、ほかにお金が回らない現状です。どこでもそうだと思いますが、最初はボランティアの方は、やりますよ、やってみますよと言われます。YU-ZUルームに関しても当初70人以上いたんですが、やってみると結構大変なんです。週のうちたとえ半日、一日でも、その間拘束されるわけなので、登録した人のうちで活動しているのは半分ちょっとで、登録はしたけど活動していない人もいます。今必死になって募集をかけています。その募集が紙面下に出ています。将来的にどうするかは皆さんのお知恵をお借りしたいと思っています。実はこの紙面には関係がないのですが、新しくできた352軒のマンションが火事だという騒ぎがありました。夜の8時半ごろです。けたたましいサイレンの音で現場に行ってみましたが、はしご車、高所作業車、化学車、レスキュー、救急車などあらゆる消防車がYU-ZUルーム付近に集結しました。結果的には誤報でした。どういう誤報かということ、マンションの斜め西側にもう一軒マンションがあるんですが、その住人が大きいマンションを見てたら屋上は燃えてるように見えた。実は視線の途中にある会社のビルがあって、こここのところ寒かったからか、室外機から蒸気がさかんにでていてそれが火事に

みえたようです。訓練としてはすごい訓練だと思いました。起きてみないとわからない。気づいたことは屋上がおかしいということで、マンションの屋上に消防隊が上がりようとしたら屋上は鍵がかかっている入れない。子どもが上がったりするとあぶないから鍵をかけてるらしい。幸いこのマンションは24時間警備員が常駐しているので警備員が鍵をあけることはできるんです。消防隊が上がりようとして、すぐに上がれなかったのも、私がなんで上がれないのと聞いたら、いやちゃんと対応できるようにシステムはなっている。システムはなっているかもしれないけれども、私のように消防車が行くのを聞いてから着替えをしてヘルメットをかぶって現場へ行って少なくとも10数分かかっている。その段階でまだ消防隊が上がれてないじゃあ、いざという時にだめでしょう。それと痛切に感じたのは、実は火は上がってないんだけど、消防車はたくさん来ている。今の人はみなさん平気な顔で歩いてられる。自治会長はヘルメットをかぶってますから、マンションに入っていいのとか、どこに行けばいいのとか聞いてくるんです。ところがそもそも炎が見えないから答えようがないんです。とりあえず、小さいロビーに住人が集まってきます。最近火が出ないせいかやじうまも来ないんです。普通に歩いているし、車も普通に通行しようとしている。交通規制がかかったのはかなり後のことです。道の片側は全部消防車でふさがれていますから、2車線しかないのに規制も早くかからない。たまたま間違いだったからよかったけれど、本当の火事だったらどうなっちゃたんだろう。一番まちぢから協議会として気になるのは、実は警備員がいて体制は万全で警報装置もしっかりしている。でも住民の避難誘導は誰がするのか。図面上はできてると思いますが、実際はうまくいかないというのが良くわかりました。余分なことですが、ご報告しておきます。

(オ) 茅ヶ崎南地区よりチラシの提供があった。

皆さんのお手元に新春の凧揚げ大会ということで、第5回になります。第4回までは、NPOの海岸づくり推進機構というところがやっていました。まちぢからができたので、バトンタッチしたいという会長の話がございます、これは協賛金でやっておりますので、集める作業が大変なんです。基礎はできていたんですけども、せっかくやるのであれば、しっかりやろうということで、これは1月2日と3日箱根駅伝が海岸を通ります。トップが通りますと花火もあがります。それから子供たちに凧をあげてもらいますが、白いビニールの凧を作っております。そこに絵をかいてもらってそれであげてもらいます。それ以外に竹馬と羽子板を用意しまして遊んでもらう。大人と子どもの交流と申しましょうか、非常に多くの方がいらっしゃいます。これを開催するにあたりまして、茅ヶ崎南地区だけではなくて海岸沿いにあります、海岸地区、南湖地区のご協力を得まして、これを開催することになりました。場所はサザンビーチです。ふるまいとしては甘酒と焼餅を用意しておりますので、お時間のある方はぜひおいでください。

(問) 浜須賀地区の話の中で、防災トイレが浜須賀小学校に昨年設置されました。小中学校が避難場所になってるわけですから、ぜひ作ってほしい。現状ではどこに何か所ぐらい作られているのか、わかりますか。今後、防災拠点に設置していくのか行政のお考えを聞きたい。

(市民自治推進課長) どういった計画なのか、確認をしてまた皆様にお知らせしたいと思いますが、私の知ってる限りでは、萩園中学校にもあったと思います。1月に改めてお知らせします。

(会長) 柳島小学校にも倉庫兼トイレ、荷物を出せばトイレになるものがあります。

(答) ゆかりの人物館にも倉庫兼トイレがあります。

(問) すべての小中学校に設置していただくと、防災上いいのかなと思います。

(答) この防災トイレについて経過を説明します。浜須賀小学校ができた時に、外のトイレはありました。ある女性の校長が長靴を履いてトイレ掃除をしていたんです。一般の人にトイレ掃除をさせるわけにはいきませんと言ったので、それで教育委員会に外のトイレを直してくれるようお願いしました。その前は水洗じゃあなかったものを、水洗トイレを作りました。浜須賀はあまり広い場所がありませんし、小学校の校庭をいろいろ使いますから、申し訳ないけれどもトイレを増設してくれないかと教育委員会に要求をしたんです。その時に予算がなくて、国の予算で申請をしてみようかということで防災トイレができました。ですからこの防災トイレは国の補助金を受けて作ったものです。

(4) 行政からの依頼事項

○ 定例・報告事項

① パブリックコメントについて (2件)

市民自治推進課長より、資料に基づき説明があった。

○ 依頼・説明事項 (新規事業等)

① 「住まいと終活セミナー」開催について

都市政策課長より、資料に基づき説明があった。

② 平成31年度感震ブレーカー等設置費補助金制度について

都市政策課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(会長) 我々の要望意見を、速やかに改善していただき、ありがとうございます。

(問) 平成31年度交付申請1月末までというのは、32年の1月末ですか。

(答) そうです。平成32年1月末です。

③ 高南一周駅伝について

スポーツ推進課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(会長) 第81回という歴史のある大会です。チームとしては小学校含めると100チーム位とのことですので、応援を含めてよろしくをお願いします。

以上で行政からの依頼事項等は終了した。

会長より発言があった。

先日の研修会の後の懇親会の挨拶でも触れましたが、今役員会のなかで、まちぢから協議会としても、自治会を基盤として活動をしているわけなんです、今自治会の加入率が今まで8

0パーセントぐらいあったのに、75パーセントまで下がっている状況です。そんなことで、いろんな活動を含めて、自治会の加入の促進をしないと地域の活性化も図れないんじゃないかと、まちぢから協議会の前の自治会連絡協議会の時にプロジェクトチームを作って加入促進をして不動産会社にチラシを置いてもらったり、いろいろな活動をさせていただいた結果ある程度維持ができていたんですが、また下がってきているので、できたら次年度に加入促進に取り組んだらどうかというお話が役員会でございます。まだ決定ではないんですが、国道1号線を挟んで、北と南で3地区ぐらいの代表を選んでいただいて、そこで進めて行ったらどうかという意見が出ております。それからもう一つは防災の関係で、各地区防災訓練等を毎年行われているんですが、その中で、各地区の防災訓練をどのようにやっているかをなかなか横の連携もできていないので、それらを含めながら防災の部会を作って、お互いに連携をとりながら、さらにこれから南海トラフ地震とか、大きな地震が来る可能性がありますので対応していければということで役員会で話がありました。できましたら次年度に向けてそういう取り組みをしていったらどうかということでした。

(事務局) 実は現在、まちぢから協議会連絡会のホームページに自治会という項目がありません。事務局に、茅ヶ崎市に引っ越してきたから連絡があって自治会に入るにはどうしたらいいかという問い合わせがありました。以前は自治会連絡協議会がありましたので、そのホームページの中に、「自治会って何?」とか「自治会 Q&A」とかがあり、自治会加入申込書もありました。ですから茅ヶ崎に転入されたかたなどは、このページを見て申込書を提出し、事務局で各単位自治会に回していたという状況がありました。ところがそれが一昨年、自治会連絡協議会がまちぢから協議会連絡会に変わって当然ホームページも一新しました。他市から転入された方がまちぢから協議会といっても、わからない状況です。

(会長) そういうものも含めながら、次年度から皆さん方と意見を出し合いながら、進めて行ったらどうかということで、提案をさせていただきました。いかがでしょうか

(委員) 2回もやって失敗している。ある自治会長にあなたのところは民生委員がやけに多いけれども自治会に入っている会員は少ないといったら、その会長は自治会に入って何のメリットがあるんだと聞かれたら答えられなかった。だから今でもそこは60パーセントの加入率です。これはこういう大きなところでやるよりも、自分の自治会に入ってくださいという人と入ってくれますよ。大きいところだとただ騒いでもだめです。班長、組長が自然と入れてきます。そういうふうに住向けることが大事です。

(会長) もちろんそれも大事ですが、前回のプロジェクトではパンフレットを作ったり、いろいろな活動をしながら、自治会長さんにこういうやり方もあるよとか、Q&Aなども作ってお渡ししたり、あと確か自治会加入推進強化月間なども行いました。そういう形を作ってあげて各自治会で、そういう方向にもっててもらうのも一つの方法だと思いますので、皆さんでどういうやり方がいいのか話し合う場を作るといのが大事だと思いますので委員の意見も尊重しながらよろしく願います。

(ホームページ管理運営チームリーダー) 今年度は何もできていませんが、今お話があったようなホームページを窓口にした自治会加入はひとつのホームページの有用な活用だと思いますので、来年度にはどうしたらいいか皆さんと討議したうえで進めたいと思います。今年度一回

会議を開いて、来年度のテーマの一つとして取り組みたいと思っています。

(会長) そういうことで、準備を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(5) 閉 会 植松副会長